



明和病院だより



2018年12月号

★年末年始休診日のお知らせ★

12月29日(土)～1月3日(木)は休診いたしますので、
よろしくお願いたします。

(1) 医師から皆様へ

〈インフルエンザの季節です！～いま再び異常行動について～〉

抗インフルエンザウイルス薬(インフルエンザ薬)タミフルが登場したのは画期的なことでした。ところが、その服用後に異常行動(例:急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロするなど)が報告され、これらの異常行動の結果、極めてまれですが転落等による死亡事例も報告されました。そこで平成19年2月28日付けで、厚生労働省からインフルエンザ治療中のお子様に対する注意事項が示されました。それとともに10代の方にはタミフルを使用しない治療方針になりました。しかしその後、厚生労働省が研究班を設けて検討を重ねてきた結果、平成30年8月21日からは10代の方にもタミフルを使用できるようになりました。



インフルエンザ薬の服用が異常行動の原因となっているかは不明ですが、インフルエンザにかかった時には、医薬品を服用していない場合でも同様の異常行動が現れること、またインフルエンザ薬の種類に関係なく、異常行動が現れることなどが明らかになったからです。

こうして治療薬の選択肢が増えたことは喜ばしいことですが、インフルエンザに罹った際は、インフルエンザ薬の種類や服用の有無にかかわらず、異常行動に対して注意が必要だということです。

★インフルエンザに罹ったら異常行動に注意

インフルエンザは発熱に伴う異常行動をおこしやすい病気です。多くの場合心配のない一時的な「熱性せん妄」という状態です。また、タミフルが発売される以前からインフルエンザ脳症・脳炎の初期症状として「熱性せん妄」が見られるとされてきました。

＜異常行動の例＞

- ・突然立ち上がって部屋から出ようとする。
- ・興奮状態となり、手を広げて部屋を駆け回り、意味のわからないことを言う。
- ・興奮して窓を開けてベランダに出ようとする。



- ・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない。
- ・人に襲われる感覚を覚え、外に飛び出す。
- ・変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る。
- ・突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする。

★少なくとも2日間、お子様を一人にしないように

上記の異常行動は発症後2日以内に起こることが多く、またインフルエンザ脳症・脳炎の初期症状を早期に発見するためにも、保護者の方は少なくとも2日間は小児・未成年者を一人にせず、十分に観察できるようにご配慮下さい。

また、これに加え異常行動が発生した場合でも、小児・未成年者が容易に住居外に飛び出ないための対策として、例えば以下のような対策が考えられます。

(1) 高層階の住居の場合

- ・玄関や全ての部屋の窓の施錠を確実に(内鍵、補助錠がある場合はその活用を含む。)
- ・ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・窓に格子のある部屋で寝かせる(窓に格子がある部屋がある場合)

(2) 一戸建ての場合

- ・(1)に加え、できる限り1階で寝かせる

感染防止対策室 室長 岸 清彦

(2) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演題：それって、ほんま？「睡眠薬ふたたび！！」
- ・講師：非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日時：12月20日(木) 14:00～14:50
- ・場所：明和病院 南館5階 明和ホール東



(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演題：減塩しながらおいしく食べるコツ ～年末年始にむけて～
- ・講師：栄養科 管理栄養士 古長 真理子
- ・日時：12月4日(火) 14:00～15:30
- ・場所：鳴尾東公民館 (Tel 0798-49-1300)



(4) はばタンもやってくるクリスマスコンサートのお知らせ♪

ピアノやバイオリンの演奏で、一緒にクリスマスソングを楽しみましょう！
今年は兵庫県マスコットの「はばタン」も特別出演しますよ♪

- ・日時：12月21日(金) 16:00～16:50
- ・場所：中央館4階



(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)